

組織運営戦略委員会

委員長 飯田 拓郎

「変化に強い柔軟な組織運営と仕組みを作り、魅力と想いを地域へ発信する。」

我々が日々暮らすこの街と環境は時代の流れによって大きく変わってきました。一般社団柏崎青年会議所(以下、本会議所)においても様々な「変化」が起きていますが、中でも会員数の減少がクローズアップされており、例会や事業、組織運営においてメンバー個々に求められる役割が徐々に大きくなってきました。

当委員会はこの問題に危機感を持ち、限られた人数と環境においても、会員個々が今までと変わらず高いモチベーションを保ちながら、質の高い活動をひとしく続けることができる仕組みが必要と考えました。メンバーの入れ替わりがあっても組織運営が円滑に進められるようなベースの構築、各書式の作成方法の合理化やレイアウトの最適化、新入会員受け入れ時の良い雰囲気作りと継続的なフォローなど、伝統は引き継ぎつつも組織・個人の両方がよい意味で「変化」し積極的な活動が継続していくことが、本会議所の存在価値や必要性を高め、団体の「強化」に繋がると考えます。

また、我々は地域のために活動する団体であり、実施事業の魅力や街を強く想うメンバーの志は、地域住民の皆様が本会議所について関心を持っていただくことで、より効率的に伝わります。

本会議所の活動を多くの方に知っていただくため、SNSを活用した情報の発信を継続的に実施します。

そして、柏崎の伝統祭事である、ぎおん柏崎まつりでは、祭本来の歴史やルーツを深く学び、先輩方々が培ってきた伝統を引き継ぎながらも、神輿を通じて地域団体と連携し街を盛り上げる新たなモデルを作り、自分の住んでいる街と人を更に好きになれる機会を作ります。

当委員会は「変化」を「強化」に繋げるため、責任感を持ちながらも柔軟な発想で、円滑な組織運営に取り組みます。

・担当事業(1月)

より手軽に、見やすく、メンバーが情報を共有できる JC ハンドブックを発行します。

・担当例会(1月)

新年通常総会で厳粛な審議が行えるよう、円滑な運営を図ります。

・担当例会(7月)

柏崎青年会議所の歴史と未来への想いをぎおん柏崎まつりで表現し、柏崎刈羽へ発信します。

・担当例会(9月)

9月通常総会で厳粛な審議が行えるよう、円滑な運営を図ります。

・担当事業(通年)

ホームページの刷新・管理・更新で本会議所の事業内容やPRを積極的に発信します。

・担当事業(通年)

本会議所 SNS アカウントの管理と運用を実施し、活動や事業をPRします。

・まちしるべメンテナンス(7月)

まちしるべの管理とメンテナンスを実施し、記録を残します。